

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2004・9



まちの人



自転車で世界一周を達成した

しもち としひで
下地 利秀さん(32)

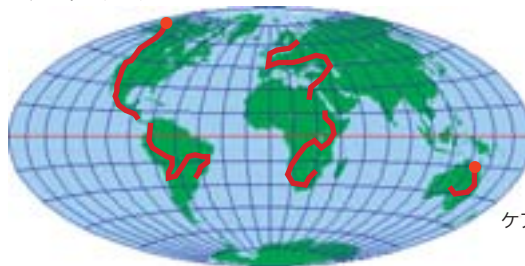
連絡先 TEL664-1516(午後7時から9時まで)

<http://www.geocities.jp/cycle5555/>

●5万4千キロの軌跡

(1999年7月～2003年1月)

スタート アンカレジ



ゴール
ケアンズ



■世界一周を共にした愛車「リング号」と下地さん
＝2002年12月 オーストラリア・ロックハンプトンにて

西野地区に住む下地利秀さんは、一九九九年から約四年で世界四十カ国を自転車で旅行しました。走った距離は五万四千キロで、ほぼ世界を一周したことになります。

下地さんが、自転車旅行を始めたのは大学生だった二十歳のとき。「車の免許を取りましたが、車を買うお金がありませんでした。仕方がないのでマウンテンバイクを買ったところ、これが面白くて」ときっかけを話します。そして、夏休みに大学のある千葉県から札幌の実家まで二週間かけて自転車で帰省したのが、初めての長距離走行でした。そ

自転車の魅力をたくさんの人に伝えたい

「いつかは自転車で世界一周したい」と考えた下地さんは、思い切って会社を退職。三百万円の貯金を持って、一九九九年七月にアメリカ・アンカレジを出発しました。途中、メキシコでは英語がほとんど通じないため「これでは駄目だ」と思い、グアテマラの語学学校で一カ月間、スペイン語を学びました。また、走行できない雨季のアフリカでは、バーテンダーの仕事をしました。ザンジバル島でヨーロッパからの観光客を相手に、数カ国語で接客したことも貴重な体験だったといいます。

「自転車は、自由な乗り物。車だと通り過ぎてしまう景色も、自転車なら立ち止まってゆっくり楽しむことができます。次はどんな景色なんだろう」といつもドキドキしながら走っていました。また、立ち寄った先々で温かい出会いがあるのも自転車旅行の醍醐味です」と話す下地さん。現在、ノート八冊分になる旅行中の日記を見ながら、旅行記を執筆中です。

その後、社会人になってからも休暇を利用して国内各地のほか、近隣のアジアの国を訪ねました。

※ 旅行中の写真や出来事を紹介するスライドショーを開催予定。問い合わせは上記まで。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。